

Ver 1.2

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト申請書

プロジェクト名	熊本県小国町間伐推進プロジェクト
プロジェクト 代表事業者名	熊本県小国町長 北里 耕亮 印

提出日 2009年10月22日

受理日 2009年10月29日

最終版提出日 2009年11月19日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)	熊本県小国町 (クマモトケンオグニマチ)		
住所	熊本県阿蘇郡小国町大字宮原1567-1		
代表者氏名	北里 耕亮	担当者氏名	穴井 徹
担当者所属	小国町役場農林振興課	担当者役職	主査
担当者 E-mail	t_anai@town.oguni.kumamoto.jp	担当者電話番号	0967-46-2112
プロジェクト事業者 ※2			
事業者名(フリガナ)	熊本県小国町 (クマモトケンオグニマチ)		
住所	熊本県阿蘇郡小国町大字宮原1567-1		
代表者氏名	北里 耕亮	担当者氏名	穴井 徹
担当者所属	小国町役場農林振興課	担当者役職	主査
担当者 E-mail	t_anai@town.oguni.kumamoto.jp	担当者電話番号	0967-46-2112
その他プロジェクト参加者 ※3,4			
事業者名(フリガナ)	小国町森林組合(オグニマチシンリンクミアイ)		
住所	熊本県阿蘇郡小国町大字宮原1802-1		
代表者氏名	高野 悠爾	担当者氏名	川谷 賢正
担当者所属	事業課	担当者役職	指導係長
担当者 E-mail	kawatani@ogunisugi.com	担当者電話番号	0967-46-2411
プロジェクトでの役割	モニタリング調査及びモニタリング報告書の作成等		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※5			
事業者名(フリガナ)	熊本県小国町 (クマモトケンオグニマチ)		
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※6			

※1:プロジェクト代表事業者のパンフレット等、事業内容の説明資料を別途添付すること。代表者以外の主なプロジェクト参加者についてもパンフレット等があれば添付すること。

※2:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減・吸収活動を実施する者を指す。代表者と同一の場合は、その旨を記載すること。

※3:その他プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。

- ・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者

※4:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。

※5:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト参加者(代表者、プロジェクト事業者、その他)のうちいずれかであること。

※6:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。

B:プロジェクト活動の概要①

B.1 プロジェクト活動	項目																																																				
	<p>B.1.1 プロジェクトの目的及び内容</p> <p>本プロジェクトを実施することにより、これまで実現できなかった低齢級林の搬出間伐を推進させることを最大の主眼に置いている。これまで低齢級林は材価との兼ね合いで採算性に乏しく、できても切り捨て間伐が主流になっていたが、適正時期に適切な搬出間伐を進めることで林業の持続可能性を維持、強化していきたい。その他プロジェクト参加者の小国町森林組合は、モニタリング調査及びモニタリング報告書の作成等で本プロジェクトに参加している。</p>																																																				
	<p>B.1.2 プロジェクト実施前の状況</p> <p>【町の概況】</p> <p>小国町は九州のほぼ中央、熊本県の最北東端に位置し、総面積 13,700ha 森林面積 10,686ha で78%が森林であり、豊かな緑と清らかな水そして雄大な山々に囲まれた町である。人口は 8,473 人(H21.6)。標高 300～800mの間に耕地、山林、原野が開け山間高冷地帯で夏は比較的涼しく、冬は厳冬で積雪もある。平均気温は 13℃で年間降雨量は 2,500mmと多く地質と合わせて小国杉の育成に適した条件となっている。当町では、特産の小国杉の特徴を生かし、木造立体トラスト工法による、ゆうステーションや小国ドームといった、大型木造建築群も建設している。また農業面においても、高冷地野菜として小国大根、ほうれん草、きゅうりなどの栽培も盛んである。それ以外にもイギリスのジャージー島から導入された乳牛による、ジャージー牛乳も特産品として有名であり、第1次産業の盛んな地域である。</p> <p>【森林の現況】</p> <p>対象林は水土保持林及び共生林である。森林施業の方法は、それぞれの規則に則って行っている。</p> <table border="1" data-bbox="507 1355 1230 2000"> <thead> <tr> <th>スギ</th> <th>林齢</th> <th>面積 (ha)</th> <th>立木材積 (m³)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td></td><td>3</td><td>0.47</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>5</td><td>1.06</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>8</td><td>4.62</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>12</td><td>0.37</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>13</td><td>0.44</td><td>25</td></tr> <tr><td></td><td>14</td><td>1.52</td><td>104</td></tr> <tr><td></td><td>16</td><td>2.06</td><td>196</td></tr> <tr><td></td><td>19</td><td>3.58</td><td>479</td></tr> <tr><td></td><td>23</td><td>4.08</td><td>771</td></tr> <tr><td></td><td>28</td><td>11.32</td><td>2943</td></tr> <tr><td></td><td>34</td><td>5.48</td><td>1866</td></tr> <tr><td></td><td>36</td><td>2.71</td><td>1035</td></tr> </tbody> </table>	スギ	林齢	面積 (ha)	立木材積 (m ³)		3	0.47			5	1.06			8	4.62			12	0.37			13	0.44	25		14	1.52	104		16	2.06	196		19	3.58	479		23	4.08	771		28	11.32	2943		34	5.48	1866		36	2.71	1035
スギ	林齢	面積 (ha)	立木材積 (m ³)																																																		
	3	0.47																																																			
	5	1.06																																																			
	8	4.62																																																			
	12	0.37																																																			
	13	0.44	25																																																		
	14	1.52	104																																																		
	16	2.06	196																																																		
	19	3.58	479																																																		
	23	4.08	771																																																		
	28	11.32	2943																																																		
	34	5.48	1866																																																		
	36	2.71	1035																																																		

	37	11.83	4709
	38	0.38	157
	39	16.85	4776
	41	8.31	3839
	42	0.20	95
	43	7.24	3562
	44	0.51	259
	45	3.45	1797
	47	2.71	1323
	48	2.56	1441
	49	0.36	207
	51	1.39	836
	52	1.53	941
	53	0.49	319
	54	1.57	1021
	55	2.10	1365
	57	2.55	1658
	69	4.59	3626
	74	2.93	2412
	78	0.75	638
	81	5.36	4561
	合計	115.37	46961

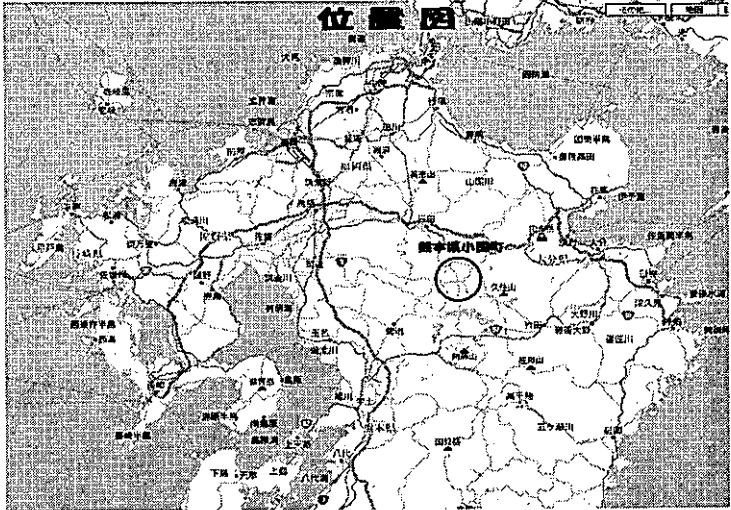
ヒノキ	林齢	面積(ha)	立木材積(m ³)
	3	0.33	
	4	14.79	
	12	2.18	
	13	1.11	35
	15	7.26	291
	16	0.11	5
	19	1.40	94
	27	1.16	168
	33	2.06	457
	34	9.86	2328
	35	42.01	10504
	36	11.77	3107

	40	3.14	1017
	46	5.07	1822
	89	0.89	707
合計		103.14	20535

広葉樹等	林齢	面積(ha)	立木材積(m ³)
	2	14.22	
	3	3.10	
	4	8.55	
	6	2.76	
	22	4.14	439
	33	23.31	3380
	34	7.38	1092
	38	4.86	768
	39	4.44	531
	40	10.43	1689
	42	1.86	277
	43	0.57	96
	44	4.70	1059
	45	7.70	1324
	49	1.42	250
	52	11.95	2139
	56	10.9	1679
	62	0.53	84
	67	2.90	470
	74	0.41	69
	110	24.46	4256
合計		150.59	19602

B.1.3 排出削減・吸収の達成手段

- ① スギ・ヒノキの人工林については、皆伐は予定されていない。30%以下の間伐により森林の山地災害防止機能に支障を来さない程度の伐採とする。
- ② 間伐については、スギ林、ヒノキ林ともに30%以下とする。また、土壌等により林木の生育の悪い箇所については、今期の間伐を見送り適期に間伐を実施する。
- ③ 間伐等のための作業路等は、出来るだけ等高線にそった勾配として、幅員を3m未満の集材路として開設し、既設の作業路は、適切な維持管理を実施することとする。また、路網の整備にあたっては、高性能林業機械による作業システム等に効率的なものを計画的に推進する。

	④ 小国町における森林施業の基本方針																																				
	森林の区分	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">樹種</th> <th rowspan="2">主伐伐期齢</th> <th colspan="3">間伐実施林齢</th> <th rowspan="2">間伐率</th> </tr> <tr> <th>1回目</th> <th>2回目</th> <th>3回目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水土保全林</td> <td>スギ</td> <td>40年</td> <td>14年</td> <td>23年</td> <td>31年</td> <td>概ね30%</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>45年</td> <td>14年</td> <td>25年</td> <td>31年</td> <td>概ね30%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">共生林</td> <td>スギ</td> <td>40年</td> <td>14年</td> <td>23年</td> <td>31年</td> <td>概ね30%</td> </tr> <tr> <td>ヒノキ</td> <td>45年</td> <td>14年</td> <td>25年</td> <td>31年</td> <td>概ね30%</td> </tr> </tbody> </table>	樹種	主伐伐期齢	間伐実施林齢			間伐率	1回目	2回目	3回目	水土保全林	スギ	40年	14年	23年	31年	概ね30%	ヒノキ	45年	14年	25年	31年	概ね30%	共生林	スギ	40年	14年	23年	31年	概ね30%	ヒノキ	45年	14年	25年	31年	概ね30%
樹種	主伐伐期齢	間伐実施林齢			間伐率																																
		1回目	2回目	3回目																																	
水土保全林	スギ	40年	14年	23年	31年	概ね30%																															
	ヒノキ	45年	14年	25年	31年	概ね30%																															
共生林	スギ	40年	14年	23年	31年	概ね30%																															
	ヒノキ	45年	14年	25年	31年	概ね30%																															
B.2 採用技術	<p>※間伐は、本数調整伐で下層間伐とする。</p> <p>プロジェクトで使用する設備・機器等</p> <p>【樹高測定】 LASER TECHNOLOGY, Inc. 製 Trupulse360 H20.4 導入(耐用年数5年)</p> <p>【間伐面積測定】 株式会社ジツタ製 Assist GPS H19.11 導入(耐用年数5年)</p> <p>その他の設備・機器については、広く一般に行われている技術に基づき実施する為、特に記載すべき事項はない。</p>																																				
B.3 プロジェクト 実施場所	実施事業所名	熊本県小国町																																			
	住所	熊本県阿蘇郡小国町宮原1567-1																																			
	概要	<p>【プロジェクトの実施場所】</p>  <p>今回のプロジェクトでは、町有林の369.10haを対象とする。 計画時期 自2008年4月1日 至2013年3月31日 熊本県阿蘇郡小国町黒淵5096-7ほか132林小班である。(詳細住所は資料2参照)現在の森林の樹種及び林齢等については、B.1.2 プロジェクト実施前の状況に記載。</p>																																			

B:プロジェクト活動の概要②							
B.4 プロジェクト期間	2008年4月1日～2013年3月31日(5年0ヶ月)						
B.5 クレジット期間 ※1	2008年4月1日～2013年3月31日						
B.6 想定排出削減 ・吸収量 ※2	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	141	291	583	698	808	2,521
B.7 モニタリング報告の頻度	年1回を予定						
B.8 補助金	受給の有無 (いずれかに○)	受給している / 申請中 / 検討中 / 受給しない					
	補助事業名称	造林補助金					
	補助金額 (申請額含む)	584,520円					
	補助対象年月日	2007年4月1日～2009年4月1日					
	補助金を受給している ことを証明する書類	補助金支払通知書					
B.9 他制度への申請 ※3	申請の有無 (いずれかに○)	有 / 無					
	制度名 (有の場合のみ)						
備考	<p>(プロジェクトの排出削減・吸収量やプロジェクトの実施に影響を与えるる現在もしくは将来的なリスク要因(例えば森林火災、気象災害、病虫害やこれらに伴う排出量がプロジェクトの吸収量を上回るリスクなど)を特定し、影響の軽減措置を記述すること。)</p> <p>森林火災 ・施業中の森林火災を予防するために、林内作業員である小国町林業一人親方の会の会議の折に、森林火災発生時における安全講習会を開催し、被害を最小限に軽減する。その他、町の広報等を通じて「山火事注意」の広報活動。森林火災発生時には、地域消防団等関係機関と連絡を密にし、的確な消火活動を行う。</p> <p>気象災害・病虫害 ・近年の状況から検討した結果、気象災害(台風等)・病虫害・獣害についてのリスクは低い。また森林保険にも1/3程度加入しており、災害等への対応に備えている。今後森林保険の加入率を高めリスクの軽減を図っていく。</p> <p>間伐のリスク ・間伐を実施する上で補助金等も含め採算性は考慮済である。</p>						

- ※1:クレジット期間は、2008年4月1日～2013年3月31日の間で設定すること。
- ※2:想定排出削減・吸収量の算定根拠をモニタリングプランで提示すること。
- ※3:海外のVER制度や都道府県等のCO2吸収量認証等、類似制度への申請の有無を記入。これは、一つのプロジェクトによる排出削減・吸収量に基づくクレジットが複数創出される等の、ダブルカウントを避けるためである。

C:方法論の適用		
C.1 ポジティブリストの 適格性基準 との整合性	C.1.1 ポジティブリストの番号	No. R. <u>001</u>
	条件	説明 ※1
	C.1.2 条件1	資料2のとおり本プロジェクトの対象地は森林施業計画対象の森林であり(2010年以降の計画については変更計画含む)、また森林法第5条に定める森林である。
	C.1.3 条件2	<ul style="list-style-type: none"> ・森林施業計画対象林の中で、2008年4月1日から2013年3月31日までの間に間伐が行われる材分を対象とする。(2012年度予定含む) ・対象期間内に土地転用は計画されていない。 ・モニタリング検証にあたっては、森林施業計画全体の伐採届・造林届により確認。
	C.1.4 条件3	本プロジェクト対象地は、全国森林計画に基づき小国町森林整備計画に照合し、小国町長が認めた森林施業計画対象林である。間伐方法及び間伐率等についても森林整備計画に基づき実施している。対象森林はSGEC認証林(認証NFEA-010)でもある。また、一部、保安林の適用を受けている。 認定番号 H19-7 自 平成19年5月1日 至 平成24年3月31日
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM <u>001</u>
	方法論名称	JRAM001森林経営活動によるCo2吸収量の増大(間伐促進型プロジェクト)に関する方法論

C.3 適用するガイドライン等	C.3.1 ガイドライン等への準拠	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインに準拠しない場合の説明)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">準拠の説明</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 全く準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 一部準拠しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 全て準拠する場合は、説明は不要。</p>	準拠の説明	説明	<input type="checkbox"/> 全く準拠しない		<input type="checkbox"/> 一部準拠しない		<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する											
	準拠の説明	説明																		
<input type="checkbox"/> 全く準拠しない																				
<input type="checkbox"/> 一部準拠しない																				
<input checked="" type="checkbox"/> 全て準拠する																				
C.3 適用するガイドライン等	C.3.2 ガイドライン等が複数ある場合の選択	<p>(オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドラインのモニタリングパターンを選択する場合)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">モニタリングパラメータ</th> <th style="width: 35%;">モニタリングパターン</th> <th style="width: 50%;">選択の理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">活動量</td> <td><input type="checkbox"/> 森林 GIS</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 実測</td> <td>森林測量に基づき適切に計測するため</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">拡大係数</td> <td><input type="checkbox"/> 実測</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等</td> <td>京都議定書3条3及び4の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書で示された拡大係数を使用</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">収穫予想表</td> <td><input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)</td> <td>熊本県林分収穫表(関係市町村 小国町、南小国町)を使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 選択理由の説明においては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。</p>	モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由	活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS		<input checked="" type="checkbox"/> 実測	森林測量に基づき適切に計測するため	拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測		<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書で示された拡大係数を使用	収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)		<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	熊本県林分収穫表(関係市町村 小国町、南小国町)を使用
モニタリングパラメータ	モニタリングパターン	選択の理由																		
活動量	<input type="checkbox"/> 森林 GIS																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 実測	森林測量に基づき適切に計測するため																		
拡大係数	<input type="checkbox"/> 実測																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 公表資料、学術論文等	京都議定書3条3及び4の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書で示された拡大係数を使用																		
収穫予想表	<input type="checkbox"/> システム収穫表 (LYCS 等)																			
	<input checked="" type="checkbox"/> 文献・資料(行政機関の資料・学術論文等)	熊本県林分収穫表(関係市町村 小国町、南小国町)を使用																		

C.4 プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)	C.4.1 ベースラインシナリオの特定	(プロジェクトが実施されなかった場合の状態(ベースラインシナリオ)の説明) 森林を適切な状態に保つために必要な間伐が2007年度以降に実施されていない状態。						
		(ベースラインシナリオ特定に使用したデータの信頼性・入手可能性)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%; padding: 5px;">データの信頼性・入手可能性</th> <th style="padding: 5px;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"><input type="checkbox"/> 低い</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="checkbox"/> 低くない</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table>	データの信頼性・入手可能性	説明	<input type="checkbox"/> 低い		<input checked="" type="checkbox"/> 低くない	
		データの信頼性・入手可能性	説明					
<input type="checkbox"/> 低い								
<input checked="" type="checkbox"/> 低くない								
(森林施業計画通りに施業を実施しない可能性に関する情報)								
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%; padding: 5px;">施業計画通りに実施しない可能性</th> <th style="padding: 5px;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table>	施業計画通りに実施しない可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
施業計画通りに実施しない可能性	説明							
<input type="checkbox"/> 可能性がある								
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない								
		(プロジェクトの対象である森林が転用される可能性に関する情報)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%; padding: 5px;">転用の可能性</th> <th style="padding: 5px;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"><input type="checkbox"/> 可能性がある</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"><input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない</td> <td style="padding: 5px;"></td> </tr> </tbody> </table>	転用の可能性	説明	<input type="checkbox"/> 可能性がある		<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	
転用の可能性	説明							
<input type="checkbox"/> 可能性がある								
<input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない								

C.4.2BLS に 関連した温 室効果ガス 排出源・吸収 源の特定		(温室効果ガス排出源・吸収源)						
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">温室効果ガス排出源・吸収源</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源</td> <td>地上部バイオマス 地下部バイオマス</td> </tr> <tr> <td>上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源	説明	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし
	温室効果ガス排出源・吸収源	説明						
	森林プロジェクトで対象となる排出源・吸収源	地上部バイオマス 地下部バイオマス						
	上記に含まれないプロジェクト固有の排出源・吸収源	なし						
	リークージに関しては、以下のリストから該当するものがあればボックスにチェックを入れること。また、チェックしたリークージは、モニタリングプランにおいて定量化すること。							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">リークージの種類</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加</td> <td>該当なし</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加</td> <td>該当なし</td> </tr> </tbody> </table>	リークージの種類	説明	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし	<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし	
リークージの種類	説明							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外での吸収量を減少させる活動の増加	該当なし							
<input type="checkbox"/> 本プロジェクト実施による、プロジェクト対象地外における排出量を増加させる活動の増加	該当なし							
	(温室効果ガス排出源・吸収源を特定するために使用した追加的な基準)							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準</th> <th style="width: 50%;">説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/> 使用</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明	<input type="checkbox"/> 使用		<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない		
温室効果ガス排出源・吸収源 特定のための追加的な基準	説明							
<input type="checkbox"/> 使用								
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								

C.5 排出量・吸収量の定量化	C.5.1 不確かなデータの使用	(吸収量の定量化における不確かなデータの使用)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>不確かなデータの使用</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>使用する</td> <td>(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>使用しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	不確かなデータの使用	説明	<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)	<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない	
不確かなデータの使用	説明							
<input type="checkbox"/> 使用する	(不確かなデータを使用することによる吸収量の過大評価がないことを説明すること。)							
<input checked="" type="checkbox"/> 使用しない								
	C.5.2 モニタリング対象とならない排出源・吸収源	(モニタリングプランを作成する上で、モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源が存在する)						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="checkbox"/>存在する</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/>存在しない</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明	<input type="checkbox"/> 存在する		<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない	
モニタリング報告対象とならないプロジェクト固有の排出源・吸収源	説明							
<input type="checkbox"/> 存在する								
<input checked="" type="checkbox"/> 存在しない								
C.6 備考	モニタリングポイントの設定方法	<p>今回のモニタリングポイントの林小班は、林小班毎に同一樹種及び同一林齢で構成されているため、基本的に林小班毎に1カ所のモニタリングポイントを設定している。しかし、1林小班のみ地形を考慮し複数(2カ所)のモニタリングポイントを設定した。またモニタリングポイントの林小班面積が狭小な所があるため、プロットの設定が困難な場合が想定される。その場合、平均的なポイントで測定し過大な数値にならないよう考慮する。</p>						

※1: ポジティブリストの条件を全て満たすことを、証拠書類等をもとに説明する。説明にあたっては、証拠書類等の該当箇所が明確になるよう、対応ページ・箇所の明示を行うこと。なお、説明に使用した資料は、名称及び添付資料番号を明記し、巻末の添付資料一覧に整理すること。

D:その他			
D.1 関連する許認可及び関連法令	(想定される関連法令等については、別紙「プロジェクト申請方法について」を参照のこと)		
	1	森林・林業基本法	該当する
	2	森林法	該当する
	3	森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法 (間伐等促進法)	該当なし
	4	種の保存法	該当なし
	5	鳥獣保護法	該当なし
	6	騒音規制法	該当なし
	7	景観法	該当なし
	8	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	該当なし
	9	環境影響評価法	該当なし
D.2 ステークホルダー (森林所有者、森林管理者、森林管理費用負担者等)のコメント	なし		
D.3 その他特記事項	<p>今回申請する対象地は全て小国町有林であり、小国町が管理している。また、小国町森林組合が認証を受けているSGEC認証林にすべて含まれている。森林に関する法令及びSGECの基準等を遵守し、森林施業計画に基づき適正に管理し、森林の公益的機能を発揮し持続可能な森林経営を目指すものである。</p>		

プロジェクト(間伐)実施場所の住所一覧

林小班8-246	熊本県阿蘇郡小国町大字黒淵545-2
林小班16-63	熊本県阿蘇郡小国町大字黒淵476-38
林小班24-13	熊本県阿蘇郡小国町大字下城4667
林小班24-723	熊本県阿蘇郡小国町大字西里2053-22
林小班31-482	熊本県阿蘇郡小国町大字宮原1271-2
林小班39-352	熊本県阿蘇郡小国町大字上田2855-1
林小班47-163	熊本県阿蘇郡小国町大字北里540
林小班47-188	熊本県阿蘇郡小国町大字北里193
林小班47-189	熊本県阿蘇郡小国町大字北里193
林小班53-431	熊本県阿蘇郡小国町大字北里1308-26-3
林小班55-60	熊本県阿蘇郡小国町大字西里467
林小班55-66	熊本県阿蘇郡小国町大字西里467
林小班62-123	熊本県阿蘇郡小国町大字西里2419
林小班65-92	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5530-46
林小班65-187	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5530-46
林小班65-188	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5530-46
林小班65-189-1	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5545-48
林小班65-189-2	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5545-48
林小班65-192	熊本県阿蘇郡小国町大字上田
林小班65-203	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5530-46
林小班65-266	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5545-43
林小班65-268	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5545-43
林小班65-280	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5545-46
林小班65-281	熊本県阿蘇郡小国町大字上田4530-54
林小班65-282	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5545-43
林小班65-307	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5530-46
林小班65-335	熊本県阿蘇郡小国町大字上田5545-48